

#### 4.4 植物・動物・生態系

川辺川ダム事業では、自然環境と共生したダムづくりをめざして、湛水予定区域とその周辺区域（「周辺区域」とは湛水予定区域よりそれぞれ山側へ 1.5km 程度にわたる範囲。以後同じ。）などにおいて、専門家から指導を受けながら継続的に動植物に関する調査・検討を行ってきている。

現地調査の実施状況は表 4.4-1 に示すとおりである。なお、川辺川ダム事業においては環境巡視員が事業区域における動植物の調査や保全措置の指導などを行っており、現地調査結果の中には平成 5 年 6 月から実施している環境巡視員の調査結果も含めている。

なお、本資料のとりまとめにあたっては、動植物保護の観点から、重要な種の確認位置は示していない。

表 4.4-1 現地調査の実施状況

調査年度	昭 和													平 成										
	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
調査項目																								
植 物	陸上植物、																		○	○	○	○		○
	大型水生植物	○																○	◎	◎	◎	◎		◎
	付着藻類	○	○					○			○	○		○	○						○	○	○	
動 物	哺乳類		○														○	◎	◎	◎		○	○	○
	鳥類		○														○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	爬虫類																○	◎		○	○			
	両生類																○	◎	◎	◎		◎	◎	◎
	魚類		○	○		○							○	○	○	○					○			
	陸上昆虫類	○	○														○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	底生動物	○	○					○			○	○		○	○		○			○	○	○		
	陸産貝類																						○	
九折瀬洞																	○	○	○	○	○	○	○	

○：現地調査を実施した年度

◎：環境巡視員による調査を実施した年度